

令和3年度事業報告書

社会福祉法人 宏仁会
理事長 吉田 基

1. 事業の概要

社会福祉法人宏仁会は、心のこもった介護サービスの提供と地域社会から信頼される法人運営の実現を基本理念に特別養護老人ホームさくらぎ苑を運営しております。

しかしながら、令和3年度においても国内の新型コロナウイルスの感染拡大の収束の兆しは見えず、令和3年8月には県内で3回目の緊急事態宣言が発令となるなど、当法人においても感染対策に明け暮れた一年間となりました。

令和3年11月8日から令和4年1月9日まではご家族様の面会を再開しましたが、県内における急激な感染拡大を受け、やむなく面会中止の判断をいたしました。ご家族様にはたいへんご迷惑をおかけしました。

また、ボランティアを迎えての苑内行事なども実施することができず、利用者には寂しい思いをおかけしましたが、少しでも楽しんでいただけるような行事を職員が工夫を凝らして行いました。

施設内では手指消毒、マスク着用、検温など徹底した感染対策を行い、その結果、利用者の感染を防ぐことができました。引き続き、感染対策を行っていく所存です。

職員については、職員の家族からの感染で4名が陽性、濃厚接触者となり、出勤停止となりました。利用者及び他の職員は濃厚接触者とはならず、苑内の感染となりませんでした。引き続き、職員の感染対策を徹底してまいります。

次に各事業の利用状況ですが、特養の一日当たりの平均入所者数は従来型46.0人、ユニット型25.8人、合計71.8人で前年比5.7人増となり、短期入所（ショートステイ）は従来型18.89人、ユニット型空床1.73人、合計20.62人で前年度より1.52人少なく、通所介護（デイサービス）は、一日当たり14.03人で前年度より1.56人の減少となりました。

特養の入所者増の理由は、積極的に入所者を受け入れた結果です。短期入所の利用者減については、従事職員の確保が困難になったことから、令和4年2月から受け入れを抑制したためです。通所介護の利用者減については、同種の施設が増えてきていることによるものと推測されます。

町からの委託事業である在宅介護支援センター事業については、実態把握調査、連絡調整、配食の調査を行い、昨年度同様の163件でした。

居宅介護支援は、担当の介護支援専門員（ケアマネージャー）の退職により、

9月からは休止となり、利用者数が減ったものです。生計困難者に対する相談支援事業は今後も相談支援を通じて地域社会に貢献してまいります。

施設・設備面では、経年劣化による故障修理、更新対応が多くなりました。主な修理、更新については、別館（ユニット型）の空調機・外調機の修理、本館（従来型）の受水槽修理、非常放送用設備修繕などでした。

本年度の補助金を活用した整備事業についてですが、8月、公益社団法人 JKA の競輪公益資金補助により、福祉車両を導入しました。軽自動車の利点を生かして、狭い道での運転やだれでも運転することが可能となり、利用者の送迎に活用しています。

令和4年3月には、県の介護ロボット・ICT 導入支援事業により、本館（従来型）に Wi-fi 整備、眠りスキャン（見守り機器）、タブレットを導入しました。そして、施設整備等積立資産を取り崩して本館にナースコール設備を更新しました。これにより、眠りスキャンとの連動を図ることができ、利用者のさらなる安全確保と職員の業務の効率化につながりました。

本年度の新たな取組みとして、8月に広報誌「さくらぎ苑ニュース」を創刊し、毎月発行しました。11月には、ホームページをリニューアルし、ご利用案内、施設案内、採用情報、行事などのお知らせ情報を随時更新しました。

また、8月からは、埼玉中央農協小川農産物直売所の協力をいただき、小川町産の旬の野菜を使用した地元野菜献立を毎月2回実施しました。

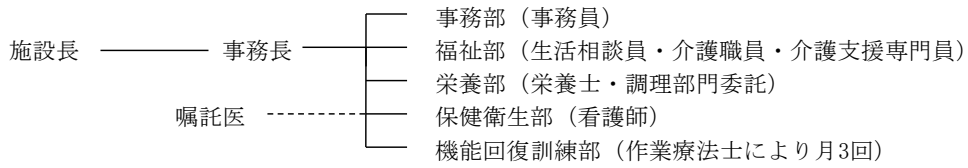
デイサービスを楽しくご利用いただく企画第1弾として、町内の菓子店の協力をいただき、令和4年1月から毎月1回、月曜日から土曜日までの6日間の3時のおやつに、小川町内の和菓子をお出ししました。

さらに、第2弾として、1月11日からデイサービスのお風呂に全国各地の温泉入浴剤を入れ、心地よい香りの中、体も気分もほっこりしていただきました。

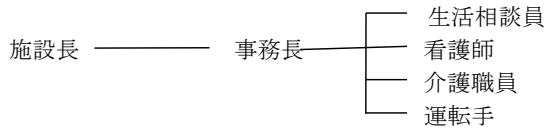
以上、本年度の事業の概要を報告いたしました。今後も介護サービスの向上に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

2. 運営管理の概要

(1) 介護老人福祉施設の組織



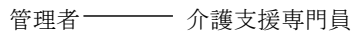
(2) 通所介護事業の組織



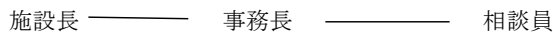
(3) 在宅介護支援センターさくらぎ苑の組織 (小川町からの受託事業)



(4) 居宅介護支援事業の組織 (令和3年9月1日から休止)



(5) 生計困難者に対する相談支援事業の組織



(6) 事業別職員数

令和4年3月31日

		施設長	事務長	事務員	生活相談員	介護職員	看護師	栄養士	調理師	介護支援専門員	医師	機能訓練指導員	運転手	社会福祉士	管理者				
介護老人福祉施設	基準	1		1	1	28	4	1		2	1	1							
	現員	①		①	③	1	42	9	1	委託	2	1	②						
医師については週1回、丸数字は兼務 (以下同じ)。																			
通所介護 (デイサービス)	基準	1				2	2	1				1	1						
	現員	①		①	①	2	5	2		委託		①	3						
在宅介護支援	基準	①								1									
	現員	①		①	①					①									
居宅介護支援 (休止)	基準									1					1				
	現員																		
生計困難者支援	基準	①																	
	現員	①		①	①	①													

3. 処遇

利用者が安心して生活を送れるよう、施設長の指示のもと介護支援専門員・生活相談員・介護職員・看護職員が利用者の基本的人権を尊重し、それぞれの状態に応じた適切な介護サービスを提供しました。

そして、介護職員が入浴、食事、排せつ介助などの業務に専門性を発揮できるよう、シーツ交換や清掃、加湿器の清掃・水の補給作業等を専門に行う職員を配置し、介護の提供体制の整備に努めました。

さらに毎月3回作業療法士によるリハビリ、理髪店の出張サービスによる頭髪のカット、職員による季節に合わせた行事等を実施し、利用者の豊かな日常生活への支援を行いました。

4. 行事の実施状況 (略)

5. 健康管理

利用者の健康管理については、食事摂取・水分補給の管理、排せつの管理、運動の実施、清潔な環境の維持、温度湿度の管理、快適な睡眠環境の維持など日常生活の管理を行いました。

発病等の際には、協力病院の瀬川病院への受診、程度により入院送迎、小川赤十字病院等近隣の病院に搬送しました。口腔ケアについても、協力歯科医院のいとう歯科クリニックに診察、ケアに関する指導を受け、利用者の健康の保持増進に努めました。

利用者の新型コロナワクチン接種については、令和3年5月、6月、令和4年1月の3回行いました。

また、本年度も職員や来苑者に対して手指の消毒、マスク着用、検温を実施したほか、手すりなどの消毒を行うなど苑内の感染対策を行いました。さらに、職員会議等の席において、感染防止の徹底を図るよう施設長から指示しました。

10月には利用者を対象に血液検査、胸部X線撮影、心電図、尿検査などの健康診断を実施しました。さらに、11月には、利用者にインフルエンザ予防接種を実施しました。

また、職員については、5月に職員全員の定期健康診断（瀬川病院）、10月には夜勤者の健康診断、新型コロナワクチン接種（1回目、2回目）の実施、11月にはインフルエンザ予防接種、日本財団による無償PCR検査を毎週実施など、感染対策や健康管理を行いました。

衛生委員会は産業医の瀬川医師の指導により月一回の定例で開催しました。

6. 利用者の食事

利用者の食事については、可能な限り旬の食材を使った家庭的な旬の食材を使った家庭的で、食べやすい、食べなれたものを提供することに努めました。

令和3年8月から、埼玉中央農協小川農産物直売所の協力をいただき、小川町産の旬の野菜を使用した地元野菜献立を月2回実施しました。

また、利用者の低栄養状態を予防・改善するため、栄養・健康状態や刻み食・ミキサー食などの食事形態や量を適切に管理し、その状態に応じた食事の提供に努めました。

さらに、月1回の行事食、年11回のお楽しみ献立、月1回の誕生会食を実施し、楽しんでいただける食事を提供しました。

7. 防災訓練

実施日	訓練内容		協力事業者
9月15日	(夜間火災想定) 消火訓練 通報訓練 避難・誘導訓練	DVDの視聴、警報 装置の取扱説明・ 通報訓練 避難・誘導訓練	なし
3月16日	(夜間火災想定) 消火訓練 通報訓練 避難・誘導訓練	警報装置の取扱 説明・通報訓練 避難・誘導訓練	なし

上記のほか、非常災害時に施設と地域双方が協力する体制を構築するために、地元小川町飯田区と「災害協定」を締結し非常時に備えています。

8. 会議と研修

職員会議とリーダー会議は毎月1回、苑の運営、介護サービスの向上策、各業務の業績報告、課題の検討などを行いました。

このほか、部署ごとのケア会議、入所者検討委員会、苦情相談委員会などを必要に応じて適宜実施してまいりました。

職員研修においては、外部研修・職場内研修を次のとおり実施しました。職員のスキルアップを図り、介護サービスの更なる向上に努めました。研修成果は、職員会議の機会等を活用して、研修内容の共有を図りました。

外部研修

日 程	内 容	
6月1日～8月31日	介護施設における安全対策担当者養成研修	(全老施協)
7月5日～10月2日		
6月30日～7月13日	感染症予防基礎研修 ～実践できなければ防げない～	(県社協)
7月6日	栄養士・調理員研修会① ～栄養ケアマネジメントに必要な知識と技術の取得～	(県老施協)
8月31日	デイサービス部会研修会②	(県老施協)
11月9日	介護職員のための医療・薬の基礎知識研修	(県社協)
11月15日	栄養士・調理員研修会② ～福祉施設における災害時の食について～	(県老施協)
11月19日～11月22日	リスクマネジメント研修	(県社協)
12月7日	福祉現場で必要な法律の基礎知識研修 ～高齢者コース～	(県社協)
12月8日	口腔機能向上研修 ～口のちからは生きるちから～	(県社協)
1月16日	BCPの作成のコツを学ぶ ～BCPを策定する上で悩ましい問題とその解決法～	(県社協)

職場内集合研修

日 程	内 容	参 加 者
4月13日	成年後見人制度について (デイサービス会議)	デイサービス職員
4月26日	事故防止について、排泄介助について (従来型介護職員会議)	従来型介護職員
4月29日	尊厳を傷つけない排泄介助 (ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
5月11日	高齢者虐待防止について (デイサービス会議)	デイサービス職員
5月19日	科学的介護推進に関する評価 (LIFE)について 身体的拘束適正化について (従来型介護職員会議)	従来型介護職員
5月28日	虐待防止・身体拘束について (ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
6月8日	感染症および食中毒予防について (デイサービス会議)	デイサービス職員
6月16日	接遇について、食中毒について 口腔と鼻腔内の吸引の手順について (従来型介護職員会議)	従来型介護職員
6月22日	食中毒について 感染症隔離対応手順について (ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
7月13日	危機管理対策 (処置・連絡・対応) について (デイサービス会議)	デイサービス職員

7月21日	食事介助について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	食事介助について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
8月10日	契約・介護計画の理解・確認について	(デイサービス会議)	デイサービス職員
8月18日	入浴時事故予防及び再発防止について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	入浴時の危険性(入浴介助)について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
9月7日	事故・緊急時の対応について 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生について	(デイサービス会議)	デイサービス職員
9月15日	喀痰吸引・褥瘡について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	褥瘡防止について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
10月7日	高齢者に対する接遇(言葉使い等)のついで	(デイサービス会議)	デイサービス職員
10月20日	緊急時の対応について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	身体拘束について、身体的虐待について 虐待防止・身体拘束について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
11月5日	個人情報保護・プライバシー保護について 移乗介助について(実技)	(デイサービス会議)	デイサービス職員
11月13日	感染症予防について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
11月17日	高齢者虐待防止について①	(職員会議)	職員全員
	感染症対策について カニューレ・パルスオキシメーターの使用方法について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
12月7日	高齢者への接遇について 介助実技について(移乗、着脱介助)	(デイサービス会議)	デイサービス職員
12月15日	高齢者虐待防止について②	(職員会議)	職員全員
	口腔・喀痰吸引について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	褥瘡・喀痰吸引について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
1月11日	法令遵守・モラルについて 介助実技について(着脱介助)	(デイサービス会議)	デイサービス職員
1月19日	入浴事故予防及び再発防止について		
	虐待の芽チェックについて	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	低血糖について 入浴時の危険性(入浴介助)について 誤薬防止について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
2月8日	リスクマネジメントについて	(デイサービス会議)	デイサービス職員
2月16日	認知症について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	認知症について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員
3月16日	喀痰吸引の手順について	(従来型介護職員会議)	従来型介護職員
	口腔・喀痰吸引について	(ユニット型介護職員会議)	ユニット型介護職員